

施策目標	意見		
	該当箇所	意見内容	
10-1	P83	10-1-2	生物多様性の表現をどこかに記載する必要は無いか。
10-2	P84	10-2-1	まちづくり協定の数を、住宅地(例:市街化区域)における協定地区の面積割合で表現してはどうか。
11-1	P88		事業系ごみにおける課題を表現してはどうか。
11-1	P89	11-1-1	最終処分量を減らすといった指標も考えられるが芦屋ではその課題は無いか。 ごみを出さない(排出量を減らす)といった表現も考えられる。
11-2	P90		何が課題かをもっと明確に表現してはどうか。 現状を維持し続けることが課題であり、更に意識を高める必要があるということか。
12-1	P94		子どもや高齢者に関する課題が表現されていない。
12-2	P97	12-2-1	建築物のバリアフリー化率の進捗をトイレの整備状況とする理由は。
12-3	P98	下から4行 12-3-1	公共施設等総合管理計画との関係性が分かるように表現を工夫してはどうか。
13-1	P103	13-1-1	まちづくり協定地区内の建築届出数を指標として無理に設定しなくても良いのでは。
13-2	P105	5行目 13-2-1	公共施設等総合管理計画との関係性が分かるように表現を工夫してはどうか。
13-2	P106	13-2-2	「ごみ処理施設の運営方針に既定する取組の進捗(%)」の内容が良くわからない。無くて良いのでは。
13-3	P108	13-3-1	指標については経済産業統計のデータを活用してはどうか。
15-1	P121	15-1-3	「公共施設等総合管理計画」の用語説明は必要では。 市民や議会にも厳しい状況を知っていただく必要がある。

平成27年8月28日

第4回芦屋市総合計画審議会（事前提出意見）

委員 小田 脩造

第3章 施策目標11

- ・ 88、89ページ環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる。のところで、パイプラインともからんでくるが、ゴミの有料化の問題について本市としてどう考えているのか聞きたい。ごみの減量化の取組みにも有効と考えるがどうか。

第3章 施策目標13

- ・ 106ページの13-2-2環境関連施設を適切かつ計画的に整備・運営します。の重点取組②パイプライン施設に関する記述であるが、具体性に欠けるのではないか。特に今後の課題としてシーサイドタウン地区のパイプラインをどうしていくのかが大きな問題でもあるし、市議会でも議論になっている。もう少し、具体性をもたせた方向性が示せないのか。

第3章 施策目標13

- ・ 108、109ページの商業の活性化について、これまで商工会としては、商工業者の経営改善をテーマにした経営セミナー、個別経営相談会、創業塾等、様々な経営支援事業に取り組んできた。しかしながら、小規模事業者は長引く不況の中で厳しい商業環境にさらされてきた。

そういう中で、地域の活力向上は、小規模事業者の活性化と表裏一体であるとして、昨年国は、「小規模事業者支援法」を改正して、小規模事業者の課題に対し、事業計画の策定や着実な実施等を事業者に寄り添って支援する体制や能力を整えた商工会が「経営発達支援計画」を策定し、それを国が認定公表し、経営発達支援事業を実施していくこととした。

今、商工会は、その「経営発達支援計画」の認定に向け準備を行っているが、今後は事業を進めていく上において、これまで以上に芦屋市との連携と協力、協働が重要になってくると思われる。

より連携を深め芦屋の小規模事業者の持続的発展を支援する取組みをお願いしたい。

第4次芦屋市総合計画後期基本計画（原案）について

第1章 人と人がつながって新しい世代につなげる

施策目標 1-1-1

- ・ SNS の活用についての意見がありましたが、迅速な情報の発信に適切ですが誤情報の発信の可能性も考え活用には慎重になるべきだと思います。

施策目標 1-2-1

- ・ ボランティアの指標についての意見ですが、全体の人数だけでなく世代別の比率を目標値にするとわかりやすいと思います。

施策目標 2-1-4

- ・ 図書館、読書の指標についての意見ですが、年間の冊数とともに、「7～15歳で月平均1~3冊の読書をする児童数」という指標を提案します。

施策目標 2-2-1

- ・ 外国語によるスピーチについての意見ですが、国際教育が必要とされる中重要な取り組みになると思いますが、この取り組みは英語に限らないということでしょうか？

施策目標 3-2-1

- ・ 芦屋市男女共同参画推進条例の認知度の指標だけでなく、市民の意識・行動に変化があったかという指標を提案します。しかし、あまり明確な指標でないのでアウトプットについての指標化は難しいと感じました。

施策目標 3-2-2

- ・ DV に関して、自身が被害に合っているかわからないこともあると思いますので、DV について冊子、講座などの周知活動も重点取組に提案します。

施策目標 4-1-2

- ・ 英語の学校の指標について意見がありましたが、「英語の学習が将来的に必要と感じるか、重要な分野という意識はあるか」という指標を提案します。

施策目標 4-2-1

- ・ 「将来の夢や目標を持っている児童の割合」の指標について意見がありましたが、75%でも十分高い数値であると感じました。将来的な目標を指標化も重要だと思いますが、「現在、学校教育だけでなく自身が積極的に学びたい分野（勉強科目・スポーツ）があるか」という指標も必要だと感じました。児童が具体的な目標を持つのが難しいかもしれませんが、現在の行動が将来的な夢につながると思うからです。
- ・ デイバート（討論）の機会を増やすことを重点取組に加えてほしいと考えます。「社会で自立するための力」に必要であると思います。

施策目標 5-1-3

- ・ 母子父子自立支援プログラム事業における満足度・生活向上度を指標化するとわかりやすいと感じました。

第2章人々のつながりを安全と安心につなげる

施策目標 6-1-2

- ・ 自分のライフステージに合った食習慣を意識して生活している割合を指標化するとよいと感じました。

施策目標 6-2-3

- ・ ジェネリック医薬品に関する情報提供をしていくべきだと感じました。税金でのメリットも大切ですが、安全面などのジェネリックに関する周知活動が大切だと考えます。

施策目標 8-1-1

- ・ 審議会でも市役所側が芦屋警察の取り組みについて関知していないとありましたが、関係機関との防犯連携について気になりました。

施策目標 8-1-2

- ・ 子どものネット利用問題について意見がありましたが、学校教育だけでなく、保護者への問題周知、改善行動も必要になると思います。

施策目標 9-1-2（6-2-2にも関連していますが）

- ・ 救急車の重篤者に限定するなど利用について周知とあるが一般人からすると判断が難しいので規制する方向にならないようにしていただきたいです。実際救急車を呼んだ経験で、通報すべきか悩んだことがありました。